●11月はロータリー財団月間です。

室蘭北ロータリークラブ会報

むらんだけ 室蘭岳

Rotary

2021～2022年度　国際ロータリーテーマ
Serve To Change Lives
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
2021～2022年度 R I 会長　シェカール・メータ

SERVE TO CHANGE LIVES

2021年11月2日(火)　第2366回　例会

第2510地区　日本 (DISTRICT 2510 JAPAN)　●会長：本間　信　●幹事：米塚　豊　●編集：クラブ管理運営委員会

創立50周年記念スローガン

50th Anniversary 室蘭北ロータリークラブ JAPAN

創立50周年 感謝の心ひとつに ――― 新たなる奉仕へ

本日のプログラム

卓話「室蘭北ロータリークラブの歴史（あゆみ）―シリーズ Part Ⅲ―」

内池　眞人 会員
クラブ管理運営委員会

本日献立　洋食ランチ（ビーフシチュー、パン、サーモンサラダ、デザート）

※例会終了後、定例理事会を開催致します。
※18：30よりクラブ協議会を開催致します。

次回の予定プログラム

卓話「室蘭北ロータリークラブの歴史（あゆみ）―シリーズ Part Ⅳ―」

笹谷　豊明 会員
クラブ管理運営委員会

次回献立　粗食例会（シーフードカレー、バターライス、サラダ、デザート）

ニコニコBOX

岸田理（クラブフォーラムご参加ありがとうございます）
藤井徹也（段々寒くなってきましたね）
米塚豊（久しぶりの夜間例会です）
本間信（久しぶりのメンバー以外の卓話につき）
内池孝年（結婚記念日、創立記念日として）
松島茂（誕生日・結婚記念日として）
赤崎幸三（今日誕生日！）

●例会場　アパホテル室蘭
●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6
●電話　0143-45-6569　●FAX　0143-50-6578
●URL　http://murokita-rc.org/
●E-mail　mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回までの例会の報告

第2365回（10月26日）例会記録

幹事報告

＊ポリオプラス募金、1人100円とワンコインニコニコBOXのご協力をお願い致します。お近くの募金箱に寄付をお願い致します。

委員会報告

1．米山記念奨学会委員会　川本委員長より
米山奨学金の寄付をお願い致します。

クラブ広報委員会（雑誌）
『ロータリーの友』11月号より

★ 11月はロータリー財団月間です。
世界中でロータリーが実施する数多くのプロジェクトの原動力となっているのが国際ロータリーのロータリー財団です。ロータリー財団は、皆様からの寄付を人々の暮らしを変えるための奉仕活動に役立てています。ポリオ根絶という目標に邁進できるのも、成果をもたらす活動によって平和推進を率先して行えるのも、財団があればこそです。今月はそんな財団に全てのクラブが関心を寄せて欲しいと思います。世界中のロータリアンをつなぎ、私たち会員の情熱を糧に人々の暮らしを変えるプロジェクトを生み出すのは財団なのですから。

2021-22年度国際ロータリー（RI）
会長　シェカール・メータ

各種記念日

誕生記念日	内池	眞人 会員	10月28日
誕生記念日	中田	孔幸 会員	10月28日
誕生記念日	齊藤	俊一 会員	10月30日
創立記念日	斉藤	聡 会員	10月31日

出席報告

会員数	53名	出席者数	27名
出席免除者数	0名	欠席者数	26名
出席義務者数	53名	出席率	50.94%

前回例会のプログラム

夜間例会「クラブフォーラム」

社会奉仕員会委員長　岸田　理
奉仕プロジェクト委員会・社会奉仕委員会

去る10月26日「室蘭市における地域食堂（こども食堂）の現状について」というテーマにて、本光寺（本輪西町）の副住職・若院の日笠正也さんを講師にお迎えしクラブフォーラムが開催されました。

講師のお寺を会場に「カレー家ウレシパ食堂」（蘭北地区を考える会主催）という地域食堂が毎月開催されていますが、実際の活動を通して大きく3つの項目でお話頂きました。一つ目は「ウレシパ食堂立ち上げの動機」について。住み続けていける街づくりを目指している「蘭北地区を考える会」が、子ども達が家と学校以外で人と関わる場所が必要であるという思いから立ち上げた。地域（こども）食堂は貧困対策だけが目的ではなく、地域づくりに重点を置いて活動しており、様々な背景を持つ人と関わる中で、人生観や物事の見方など、子ども達への好影響も願いであると話されました。二つ目には「運営方法と活動内容」について。地域食堂が抱える課題として会場・スタッフ・運営費の3つを提示し、スタッフに関しては市内の高校（清水丘高校）との連携を挙げ、今後室蘭北RCとの関わりの中で新たなスタッフの繋がりが生まれることを願い、運営費について現在持ち出しはほぼ無いが、今後食材等の寄付が減少、あるいは無くなると運営が厳しくなるという懸念を述べられていました。最後「今後の展望と必要となるもの」について。繋がることのなかった様々な人が繋がる場所になりたい。地域食堂がその役割を果たすためにはやはり、継続した人とモノの支援が必要となってくる。今後は市内で活動している他の団体との連携の為に連絡協議会の設立や、新規開設への情報提供なども行いたいと話されました。

地域づくり型の食堂は成果が見えにくいかも知れないが、10年後、あるいは20年後の地元が、少しでも住みやすい街になっていればと考えているとも語られておりましたが、蘭北地区に限らずこれからの室蘭という地域に対して、未来志向の活動として「人とモノ」を繋ぎ広げていくことは、ロータリークラブだからこそ、そして社会奉仕委員会としての活動としても、地域に資する大切なことであると今回改めて考えさせていただいた事です。ご参加いただいた会員の皆様には、改めて御礼申し上げます。